

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

| | | | |
|-------|--------------------------|-----------------|-----------------------------|
| 課題番号 | 19108003 | 研究期間 | 平成19年度～平成23年度 |
| 研究課題名 | ゲノム情報を利用した魚類の筋分化制御に関する研究 | 研究代表者 (所属・職) | 渡部 終五（東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授） |

【平成22年度 研究進捗評価結果】

| 評価 | 評価基準 |
|---|--|
| | A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる |
| ○ | A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる |
| | B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である |
| | C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である |
| <p>(意見等)</p> <p>本研究は、従来、魚類の筋分化制御の解明という基本的な問題に、ゲノム情報とトランスジェニック技術を取り入れてミオシン重鎖遺伝子の発現パターンと転写因子の機能を研究するものであり、幾つかの重要な進展があり研究は概ね順調である。</p> <p>例えば、トラフグの筋発生と筋分化に関わる複雑なミオシン重鎖サブユニット(MYH)遺伝子の発現制御が、5'上流のわずかな領域に調節されていることを発見したことは特筆される。これらの研究成果は、広く動物に共通した筋形成の分子メカニズムの理解に大きく貢献するばかりでなく、魚類の育種などの応用研究に関しても基礎的な知見を提供するものと期待される。</p> <p>若干の遅れはあるものの、順調に成果を挙げていると評価できる。</p> | |